



校訓 『自主 協同 創造』

芦中だより

令和7年11月28日第9号

芦屋町立芦屋中学校

住所：芦屋町中ノ浜 10 番 74 号

電話：093-223-0058

《 文責：石松 誠 》



2年生修学旅行「大仏もにっこり！やるシ力ない！！」



本年度の修学旅行は、生徒が発案したスローガン「大仏もにっこり！やるシ力ない！！」のもと、考動（頭で GO）・健行（正しく GO）・協創（みんなで GO）を合言葉に、11月4日（火）～6日（木）の三日間、京都・奈良・大阪の三都市で多くの学びを深めることができました。

初日のユニバーサル・スタジオ・ジャパンでは、友達と笑顔を交わしながら互いを思いやり、元気いっぱい楽しむ姿が見られました。みんなの目はキラキラと輝き、お気に入りのグッズを身にまとい写真を撮ったり、友達と盛り上がりたりするなど、どこを見ても楽しそうな様子があふれていました。ところで、あの高価なかぶり物は今どうしているのでしょうか……（笑）。



【ユニバーサル・スタジオ・ジャパン】

二日目の京都では、金閣寺の美しさに触れるとともに、京都市内班別タクシー研修を通して、計画力・判断力・チームワークをしっかりと発揮する場面が多くあったようです。



【伏見稲荷大社】

三日目の奈良公園・東大寺では、荘厳な大仏を前に静かに心を向ける姿があり、また、現地のガイドさんの話を真剣に聞く姿勢にも大変感心しました。

全行程を通して、2年生の皆さんは本当に爽やかで、礼儀正しく丁寧な姿勢を貫き、「修学旅行をみんなで成功させよう」という思いやりにあふれていました。責任感の強い生徒も多く、約束を守りながら仲間をそっと気遣う姿は、とても温かく、頼もしさを感じました。

2年生の皆さん、素晴らしい修学旅行をつくってくれてありがとう。今回の学びと経験を、これからの学校生活に存分に生かして欲しいと思います。（夏のオーストラリアホームステイに続き、今回も「校長先生、一緒に写真撮りましょう！」とは一度も言われませんでした。諦めます…涙）



← 京都の伏見稲荷大社にある石で、願いごとが叶うかどうかを占う石として有名です。願いを思いながら石を持ち上げて、

・思ったより軽ければ → 願いが叶いやすい

・思ったより重ければ → まだ努力が必要といわれています。

軽々と持ち上げている様子から、きっと願いが叶うことでしょう。いったいどんな願いを込めたのでしょうか……。



呈茶体験 ～芦屋が育んだ文化に親しむ特別なひととき～



11月5日（水）3年生、6日（木）1年生、19日（水）2年生、芦屋町の歴史と伝統文化に親しむ学びの一環として、全学年で呈茶体験を行いました。1年生は職員の方に教わりながら自分でお茶をたて、2年生は互いにお茶をたて合い、3年生は作法を学びながら職員の方がたてたお茶をいただくなど、学年ごとに役割を変えながら茶道の心に触れました。今回の体験を通して、子どもたちは芦屋町の文化への理解とともに、ふるさとへの愛着をさらに深めることができました。





情報モラル講演会 ～スマホに振り回されない自分になる～



11月21日(木)、NPO 法人「子どもとメディア」からは是石先生をお招きし、情報モラルに関する講演会を実施しました。

ネットや SNS に潜む危険性、真偽不明の情報への向き合い方、心身への影響、「知らない人とは絶対に会わないこと」、そして困ったり悩んだりしたときには早めに SOS を出すことなどについて、具体的にお話いただきました。また、「みんなやっているから大丈夫」という考え方こそが最も危険であり、SNS の使い方次第では誰もが加害者にも被害者にもなり得るということを教わりました。

こうした講話を通して、子どもたちはインターネットとの向き合い方を改めて考えることができ、大変意義深い時間となりました。

中学生『税の作文』芦屋町町長賞受賞 ～未来を照らす価値ある先行投資～

全国納税組合連合および国税庁が主催する「中学生の税の作文」において、3年生の鈴木莉央さんが 芦屋町町長賞を受賞し、町長室にて表彰されました。

鈴木さんの作文は内容・構成ともに大変すばらしく、様々な方からも高い評価をいただいた作品です。皆さんにもぜひ読んでほしいと思いましたので、ここに紹介いたします。



「税金なんてなくしてしまえばいいのに。」
友人との何気ない会話の中の一言でした。当時の私が持っていた知識なんてものは、本当にささいなもので、いくつかが税金の使い道を知っていたとはいえず、唯一納めることのある消費税が高く感じる程度の知識でした。しかし、学校の授業で見たある映像が私の考えに転機を与えてくれました。

カカオ農園で働く兄弟、ゴミの山を漁り、売れそうな物を探す女の子、家族に家を追い出されたストリートチルドレンと呼ばれる子どもたち。衝撃でした。いずれも18歳未満の子どもの子どもたちです。授業の終わりに先生は私たちにこう言いました。「生れた環境が違うだけなんよな...」と。

私はこの言葉を聞き、私の生活は、日本はすごく豊かで安定していることを改めて実感しました。

私は生まれてから現在まで、当たり前のように学校へ通い、教科書を使って勉強をし、休日には整備された公園で遊び、大好きな図書館で本を読み、困ることなく生活してききました。この当たり前はどのように成り立っているのでしょうか。

そうですね。このような公的サービスの全ては税金によって成り立っているのです。この「税金」がどのような役割を持っているのか。単純な興味とともに、これからの自身の生活の在り方を考え直すきっかけになると思い、調べることになりました。すると、調べていく中で、社会保障や教育、土地の整備など、想像以上に私たちの生活と税金が密接に関わっていることを知りました。

税金は国民の生活を豊かにしているのです。一方で、海外支援を行っているという記事を見つけた。詳しく追っていくと、アフリカやアジアなどの発展途上国に対し、税金の一部を財源として支援しているとのことでした。国民の中には、この活動に対し、否定的な意見を持つ人もいるそうですが、私はそうは思いません。とても価値のある有意義な活動である上に、国際協調の面から見ても、すごく大切なことだと感じます。このような様々な税の使われ方を知り、正直全くと言ってよいほど、関心が高かった税について少し興味を持つようになりました。

改めて、私は税を納めることには意義があるとともに、大きな価値があると思います。そしてこれからの日本が、世界全体があるべき形であるために必要不可欠なものになるでしょう。少なくとも日本では、税金によって国民の生活が豊かになっているのです。

私は今後、歳を重ねるにつれて、これまで以上に多くの税金を払うことになるでしょう。

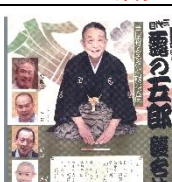
しかし、私にとって税金を納めることは、未来の日本、そして世界への価値ある投資です。

税金に対してのイメージを明るくするためには、やはり納める立場である私たちが関心を持つことが重要です。これから社会を明るくするために、希望に満ちた未来を共に創っていくために、税への知識を深め、税を通じて未来を創ることに誇りを持つてみませんか。

12月の主な行事

1日	月	あいさつ運動	17日	水	保護者会(全学年)
2日	火	読み聞かせ(1年生)	18日	木	イブスタ
3日	水	放課後塾	19日	金	イブスタ
4日	木	イブスタ	20日	土	
5日	金	人権学習 LGBTQ 講演会(3年生)	21日	日	
6日	土		22日	月	
7日	日	吹奏楽部アンサンブルコンテスト	23日	火	イブスタ
8日	月		24日	水	2学期終業式
9日	火	読み聞かせ(2年生)	25日	木	リーダー研修
10日	水	保護者会(3年生) 放課後塾	26日	金	冬休み
11日	木	保護者会(全学年)	27日	土	
12日	金	保護者会(全学年)	28日	日	
13日	土	芦屋町人権まつり	29日	月	
14日	日	三代目露の五郎襲名披露公演 In 芦屋町	30日	火	
15日	月	あいさつ運動 芸術鑑賞(落語) 保護者会(全学年)	31日	水	
16日	火	保護者会(全学年) 読み聞かせ(3年生)			

翌日15日に、芦屋中でお話を
していただくことになっています。



芸名：露の五郎(つゆの ごろう)
本名：植山 真吾(うえやま しんご)
生年月日：昭和30年4月13

追記...先日、ある講演会でとても印象的なお話を聞きましたので、紹介したいと思います。講師は、九州自然動物公園アフリカンサファリの園長さんでした。

ある日、園内で子どもが「たくさんの種類(70種約1400頭)の動物がいますが、それぞれと触れ合うコツは何ですか？」と質問しました。すると、園長さんはこう答えたそうです。

「自分がしてほしいことを動物にしてあげること...動物は言葉を話ませんが、やさしく接すれば安心し、乱暴に扱えば怖がります。これは、人との関わりでも同じことです。」
「相手の立場に立つこと」「思いやりをもつこと」の大切さを改めて感じました。子どもたちにも、日々の学校生活の中で「自分ならどうしてほしいか」を考えながら、周りの人に接してほしいと思いました。



【園で10年ぶりに生まれた小象】